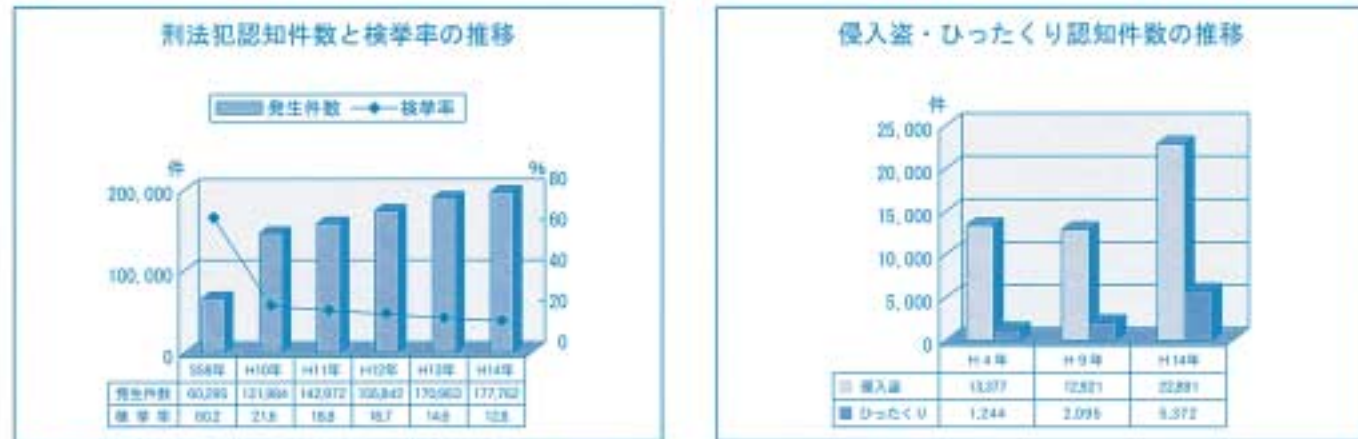


犯罪はこんなに増えている・・・



※ 刑法犯～刑法に定められている犯罪をいう。ただし、交通事故の業務上過失致死傷罪を除く。

- 刑法犯認知件数は、20年前の約3倍。検挙率は、約5分の1。
- 特に平成10年からの増加が著しく、年々増加傾向に。
- 侵入盗は、この5年間で約2倍に、ひったくりは、5年前の2.5倍に激増。

あなたの防犯対策は大丈夫??・・・

侵入盗対策

- 出入口のドアや窓には補助錠を取り付けましょう。
- ピッキングに強い錠を取り付けましょう。
- 窓には面格子を取り付けましょう。
- 不審な人を見かけたら声をかけましょう。



ひったくり対策

- 自転車の前カゴに防犯ネットを取り付けましょう。
- 暗い道、人通りの少ない道は避けましょう。
- バッグは、車道と反対側にしっかり持ちましょう。
- 後ろから近づくバイクや車に注意しましょう。

自分だけは大丈夫と決して思わないで・・・

防犯ネットでガード!



安心安全

～住みやすい街を目指して～

埼玉県における刑法犯罪は年々増加し、平成15年度の犯罪認知総数は179,276件となっています。これは1日当たりに換算すると約491件となり、被害を未然に防ぐためにも日ごろの防犯対策、特に地域ぐるみの対策が重要となります。そんな中、住みやすい街づくりを目指して、地域で防犯パトロールを始めた区の状況を追ってみました。



地域の安全は地域で守る

17時45分、暑さも癒え、風も涼しく感じられるようになった中央児童公園に、「防犯」と書かれた帽子と腕章を身につけた方々が続々と集まってきました。小貝戸区防犯パトロールのみなさんです。

編成は区の役員の方を中心に、約12～3名の方で構成されており、中には女性の方も含まれているとのこと。活動は主に区内の巡回活動としており、その方法は編成を2班に分け、区内の公園などの施設を約40～50分かけて徒歩で実施しているとのこと。



地域の連携を高める

取材時当日は、4名の方が中央児童公園を起点に氷川神社周辺を中心に巡回をされていました。時おり談笑を交えながらも、みなさん真剣な眼差しで、パトロールを行って



防犯のまちづくりを目指して

取材をしながら感じたことは、徒歩での巡回ということでは会話が増えることでコミュニケーションが取れ、地域に関する情報の共有が可能になり、その地域の実情を把握できるということでした。

今回取り上げた小貝戸区に限らず、みなさんがお住まいの各区においても、地域防犯に対して、様々な活動を行っていることは思いますが、このようなボランティアのみなさんの地道な努力が、犯罪の発生を減らし、地域の防犯意識を高めていくことは間違いないと思います。

ちょっとした気配りが大きな成果を生むきっかけになるかもしれません。みなさんの地域においても、またご家族、ご友人同士でも防犯対策について、今一度話し合ってみてはいかがでしょうか。